

単元案の概要

テーマ
校内ツアーに出かけよう！
目標
学習レベル 2、3 (対象となる学習者はレベル1) →学習レベル：外国語のめやすのレベル1～2の学習者を対象にしており、レベル2～3レベルの活動を目指す。 ・〇〇国で日本語を学んでいる高校生グループが来校した際に、自分の学校の校内を〇〇語で案内することができる。 ・〇〇国と日本の学校の施設などの違いを踏まえて、相手に分かるように説明できる。
コミュニケーション能力指標
【話題分野：学校生活】 1-d. 学校のこと（制服、給食、宿題や施設の有無など）について、口頭でやりとりできる。 1-f. 授業やクラブを担当している先生（名前、性別、担当科目やクラブ、など）を口頭で紹介することができる。 2-a. 学校内のどこに何があるか（げた箱、職員室、体育館、プール、保健室など）について、口頭でやりとりできる。 2-c. 休み時間や放課後の過ごし方（クラブ活動、生徒会活動、清掃など）について、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。 3-b. 先生がどんな人（外見や性格など）か、口頭でまたは書いて説明することができる。 3-c. 学校の特徴（ユニークな授業や何で有名か）について、口頭で紹介しあうことができる。 3-g. 学校のなかを、設備の配置などを説明しながら案内することができる。
学習シナリオ
<場面状況> 第二外国語として〇〇語が開講されている高等学校に、〇〇国で日本語を学んでいる高校生グループ30名が来校することになった。〇〇語選択の2年生が中心となり、校内を案内するツアーを行うことになった。
<活動の流れ> ①〇〇国の学校内の写真や時間割などの資料と教師の説明をもとに、〇〇国と日本の学校施設などの異同を理解する。 ②①で得られた理解を踏まえて、〇〇人高校生が来校する時間帯に開講される授業の中から紹介したい授業や、案内したい施設を選ぶ。 ③〇〇国の学校との違いを踏まえ、授業内容と先生の紹介、施設の紹介を、簡単な日本語で準備する。(グループ活動) ④③で準備した日本語を〇〇語で表現する際に必要な文法・語彙表現を学ぶ。 ⑤③で作った案内文をできるだけ生徒たち自身で〇〇語に翻訳する。訳しきれない部分は、

教員が手助けし、案内文を完成させる。(グループ活動)

- ⑥〇〇語原稿が完成したら、担当箇所を決めて読む練習をし、教師に発音チェックしてもらったら、なるべく原稿を見ずに案内できるよう練習する。暗記の程度や必要な身ぶり手ぶりなどはグループ内で互いにチェックし合う。
- ⑦校内ツアーを行う際の役割分担(案内説明を行う役、ビデオで記録する役、タイムスケジュールと案内ルートを確認する役など)を決める。
- ⑧各グループが校内を回る際に混乱が起きないように、また授業の妨げとならないよう、各グループの案内ルートを調整する。
- ⑨当日までの準備として、校内を案内する際、〇〇人高校生に配布して施設名などを書き込んでもらう校内マップを作成する。マップの余白には、授業の名前と施設の名前を、〇〇語でランダムに並べて示しておく。
- ⑩本番当日は、〇〇人高校生を日本人高校生のグループ数に分けて案内担当とマッチングし、校内ツアーを実施する。日本人高校生は、役割分担に従い、順次案内を行う。〇〇人高校生には、空白の校内マップに、説明を受けた教室や設備の名前を選択肢(〇〇語と日本語)の中から選んで記入してもらう。日本人高校生の案内の中で興味を持った内容も、メモしてもらう。
- ⑪校内ツアーの最後に、〇〇人高校生に感想を求め、その様子をビデオで撮影する。
- ⑫ツアー終了後、日本人高校生は振り返りシートに自己評価とグループ評価、ツアー中の突発事項やそれへの対応などを記録する。
- ⑬事後に各グループのツアーの様子を取めたビデオから、各自の案内の様子を最低一場面ずつと、〇〇人高校生の感想を二人分程度取り出して、自分たちで編集する。
- ⑭編集したビデオを全員で視聴して、パフォーマンス評価を行い、〇〇人高校生の感想の内容を確認する。あわせて、次年度以降、同様の活動を行うであろう後輩への助言、メッセージを残す。

総括的評価

- ・〇〇国と日本の学校の施設などの違いを踏まえて、相手に分かるように説明できたか。
- ・〇〇国で日本語を学んでいる高校生グループが来校した際に、自分の学校の校内を〇〇語で案内できたか。
- ・案内グループ内で協力し、分担した役割を果たせたか。

指示文: ○○国で日本語を学んでいる高校生グループが来校した際に、○○国と日本の学校の施設などの違いを踏まえて、自分の学校の校内を○○語で案内してください。

作成に当たっては以下の点に注意して下さい。

- ① ○○国と日本の事情の違いを十分考慮して、○○国の高校生の立場に立って、わかりやすく、興味を持ってもらえるように説明してください。
- ② 案内の際に必要なであれば、写真などの資料を準備してください。
- ③ 案内はグループで行いますので、役割分担など、みなで協力してください。役割は、案内説明を行う役、ビデオで記録する役、タイムスケジュールと案内ルートを確認する役などですが、グループのメンバーで交代しながらすべての役を担当してください。
- ④ 皆さんの案内が○○人高校生にわかってもらえたかどうかを知るために、校内マップを用意し、そこに案内された施設名や興味を持った内容を書き込んでもらってください。書き込み済みの校内マップは写真記録をとらせてもらい、実物は持ち帰ってもらいます。
- ⑤ 案内ツアーの様子はグループごとにビデオ記録を撮ってもらいますので、これも役割を決めておいてください。なお、ツアーの最後に、○○人高校生に感想を求め、その様子をビデオ撮影してください。
- ⑥ 事後に各グループのガイドの様子を収めたビデオから、各自の案内の様子を、最低一場面ずつと、○○人高校生の感想を二人分程度取り出して編集し、編集済みのデータと編集前のデータを提出してください。

プロジェクトの対象

高校 (共学・中堅校)、2年生、必修選択、第二外国語、学習2年目、授業は週に50分×2

学習者像

No	名前		部活	趣味・好きな物	キャラクター・その他
1	ゆめの	女	ダンス	ディズニー 交流大好き 歌を歌うこと	積極的、完璧主義ではない、わりと優等生
2	めぐ	女	ソフト ボール	交流大好き (ロシア語の)勉強が好き	よく笑う、よく発言する、祖母の影響でロシア語を選択
3	しょうた	男		文房具をいじる	歌は好きでない、恥ずかしがり屋、自分から発言しない、意欲が成績に反映されない

ワークシート 3 × 3 + 3 分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容と先生の紹介、施設の紹介をするために必要な文法・語彙表現。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇国の学校内の様子に関する資料をもとに、〇〇国と日本の学校の施設などの異同を理解する。 異同に関する理解を踏まえて、〇〇人高校生が来校する際に紹介したい授業や施設を選ぶ。 	
できる	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容と先生の紹介、施設の紹介を〇〇語で書く。 各自の担当箇所を練習し、原稿を見ずに説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇国と日本の学校の施設などの異同について考える。 異同に関する理解を踏まえて、〇〇人高校生が来校する際に紹介したい授業や施設を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な授業内容と先生の紹介、施設の紹介を準備する。 〇〇語で表現しきれない部分については、教員に手助けを求める。 グループ内で、発音のチェックをし合う。 校内ガイドを行う際の役割分担を決める。 案内ルートをグループごとに調整する。 各グループごとに、校内ガイドを行っている様子をビデオ撮影する。撮影したビデオを編集する。
つながる	<ul style="list-style-type: none"> 校内マップの余白に、施設や授業の名前を〇〇語と日本語でランダムに並べて示す。 〇〇人高校生に校内ガイドを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 異同に関する理解を踏まえて、〇〇人高校生が来校する際に紹介したい授業や施設を選ぶ。 〇〇人高校生に校内ガイドを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇人高校生に紹介したい授業の簡単な内容と先生の紹介、施設の紹介を準備する。 〇〇人高校生に校内ガイドを行う。 後輩への助言、メッセージを残す。
三連携	連携1：学習プロジェクトの実施 連携2：ITCの操作（校内マップ作成、ビデオ操作） 連携3：他教科の先生たちの協力、〇〇国の学校内の様子に関する資料		

評価ルーブリック

テーマ：校内ツアーに出かけよう！

評価基準	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し！ (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
日本語の案内文 【形成的評価】	〇〇国の状況を十分に考慮し、豊富な情報を含む案内文を作成することができた。	〇〇国の状況を考慮し、偏りのない情報を含む案内文を作成することができた。	〇〇国の状況はある程度考慮されていたが、情報に偏りがあった。	〇〇国の状況が考慮されておらず、断片的な情報に留まっていた。
〇〇語の案内文 【形成的評価】	学習していない文法・語彙・表現も正しく駆使し、作成した〇〇語の案内文は相手に十分伝わると思われるものだった。	学んだ文法・語彙・表現を正しく駆使し、作成した〇〇語の案内文はおおむね相手に伝わると思われるものだった。	学んだ文法・語彙・表現は使用しているが、一部に留まったり、誤っており、作成した〇〇語の案内文は相手にやや伝わりにくいと思われるものだった。	学んだ文法・語彙・表現を正しく使えず、作成した〇〇語の案内文は相手にほとんど伝わらないと思われるものだった。
暗記の度合い	台本をまったく見ずに、スムーズに案内できた。	台本をときどき見ながらではあるが、スムーズに案内できた。	頻繁に台本に目をやり、スムーズな案内とは言えなかった。	ほとんど暗記できておらず、終始台本を読んでいた。
視線・身ぶり手ぶり	複数の相手を見渡ししながら、相手をひきつける身ぶり手ぶりも入れて案内した。	相手の方を見て、必要な身ぶり手ぶりを入れながら案内した。	案内の言葉を言うことに一生懸命で、ときどき相手の方を見る程度であったり、必要な身ぶり手ぶりが少なかった。	相手の方を見ることはなく、必要な身ぶり手ぶりもなかった。
発音	明瞭な発音で、声も大きい。内容がはっきりと伝わる。	明瞭な発音。言っていることはおおむねわかる。	明瞭さに少し欠ける。ところどころ聞き取れない。	明瞭さに問題があって、何を言っているのかわからないところが多い。
対応力	相手の反応や興味関心を十分に配慮し、質問や要望に応えながら、臨機応変に対応できた。	相手の反応や興味関心を気かけながら、質問や要望にも対応しようとした。	相手の反応や興味関心に気付きはしたが、対応しなかった。	相手の反応や興味関心にまったく気をかけなかった。
グループ活動への貢献度	自分の役割はもちろん、さらに積極的にアイデアを出したり、グループ内の活動がうまくいくように工夫することができた。	自発的に自らの役割を果たし、グループのメンバーと積極的に協力することができた。	与えられた役割は果たしたが、グループ活動に積極的に関わらなかった。	自発的にグループ活動に関わらず、役割を十分に果たせなかった。

※「対応力」は編集前のデータを教師が見て評価をする。

「グループ活動への貢献」はふりかえり用紙を用意し、そこに書かれたことをもとに評価する。

<バリエーション>

評価項目「対応力」について

1. 学習シナリオ：⑬事後に各グループのツアーの様子を収めたビデオから、各自の案内の様子を最低一場面ずつと、○
○人高校生の感想を二人分程度と、相手への配慮ができたと思う場面を取り出して、自分たちで編集する。

指示文：①事後に各グループのガイドの様子を収めたビデオから、各自の案内の様子を、最低一場面ずつと、○○人
高校生の感想を二人分程度と相手への配慮ができたと思う場面を取り出して編集し、編集済みのデータを提出してください。

→このビデオをもとに評価する。

2. 指示文ふりかえり用紙の中に、想定とは違った点とそれについてどのように対処したかを書く項目を入れ、その内容により評価する。

目標分解

個々のタスク	小目標	中目標	大目標	テーマ		
先生から示された資料を見て、〇〇国の学校施設などにどのような特徴があるかをグループで話し合う。	〇〇国の学校施設などの様子がわかる。	〇〇国の学校内の様子に関する資料をもとに、〇〇国と日本の学校施設などの異同について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇国で日本語を学んでいる高校生グループが来校した際に、自分の学校の校内を〇〇語で案内して回る。 ・〇〇国と日本の学校の施設などの違いを踏まえて、相手に分かるように説明できる。 	校内ツアーに出かけよう！ <場面状況> 第二外国語として〇〇語が開講されている高等学校に、〇〇国で日本語を学んでいる高校生グループ30名が来校することになった。〇〇語選択の2年生が中心となり、校内ガイドを行おうという提案がなされた。		
異同についてグループで話し合う。	〇〇国と日本の学校施設などの異同がわかる。					
【形成的評価】〇〇国と日本の学校施設の特徴と異同についてグループで書き出して提出させる。(総括的評価に入れない)						
	日〇の異同を考慮して、紹介したい施設・授業を選ぶ。	紹介したい授業や施設を選び、案内文を日本語で準備する。				
	案内スケジュールを組み、役割分担(説明係、ビデオ係、スケジュール係)を決め、コメント記入用の校内マップを作る					
	案内文を日本語で準備する。					
【形成的評価】日〇の異同を考慮して、日本語で案内文を作成する。(総括的評価に入れる)						
	施設名を〇〇語で表現できる。	〇〇語による案内文を準備する。				
	その場所で何をするかを〇〇語で表現できる。					
	授業名を〇〇語で表現できる。					
	授業の特徴を簡単な形容詞で表現できる。					
	学んだ文法・語彙表現を使い、不足する部分は先生の助けを借りて案内文を完成させる。					
【形成的評価】〇〇語で案内文を作成する。(総括的評価に入れる)						
各自、担当部分を読む練習をし、覚える。	見ないですらすら読める。	場面にふさわしい案内ができるように準備する。				
グループ内でチェックしながら読む練習をする。						
鏡を見て、各自、パフォーマンスを工夫する。	場面にふさわしいパフォーマンス(視線・身振り手振り)ができる。					
グループ内でチェックしながらガイドの練習をする。						
【形成的評価】案内のリハーサルを行う。(総括的評価に入れる)						
訪問当日、校内を案内し、〇〇人高校生のコメントを受け、編集したビデオを視聴しながら振り返りをする。 編集したビデオは相手校にも送る。						